

こんなときこそ国内旅行!



ベトナム小旅行

Topic 気になる現場

ベトナム経済回復の柱の一つが観光業だ。政府も6月から国内旅行の推進施策を進めており、国内線も通常運航に戻った。新型コロナ自粛でなまった体にご褒美を。週末を使ったベトナム小旅行に出かけませんか? (情報は6月上旬現在)

始まったベトナム国内移動

新型コロナウイルスの影響で、当面は海外に出られない。しかし、航空機の国内線も復活し、ベトナム国内であれば移動は自由になった。ならば国内旅行はどうだろうか? しばらく連休はないので、都市部から1~2泊で楽しめる小旅行だ。

H.I.S. SONG HAN VIETNAM TOURISTハノイ支店の浅田純一氏によれば、飛行機を使う日本人は増えてきたという。

「5月入ってハノイ・ホーチミン市など大都市間の出張がまず始まり、6月からは旅行も増えると思います。新型コロナで自粛が続いたこともあり、日本人の国内旅行ニーズは期待できます」

同社はベトナム人が対象の国内ツアーは販売していなかったが、収益の柱であるベトナム人の訪日旅行が組めない中、5月からこちらをスタートした。価格を抑えていることもあってか問合せは増加中だ。そんな同社におすすめスポットを尋ねた。

ハノイからちょっと田舎へ

まずはハノイ近郊から。日帰りか週末泊で、ホアビン省の農村地帯「マイチャウ」はどうだろうか。ハノイ市内から車で3時間半ほどで、古き良き(?)日本の田舎を思わせる村や緑が広がる。人気のアクティビティはハイキング、湖でのカヤック、鍾乳洞見学などで、目指すは「のんびり系」。当地に住む少数民族の人たちとも触れ合えて、ハンドメイドの刺繍や織物なども購入できる。

「私も行ったことがあります。のどかな田園風景で自然が満喫できますし、これからは夏のシーズンなので葉が青々と茂るでしょう。ご家族で行けばお子様も喜ぶと思いますよ」

外国人の入国制限で現在は異なるが、マイチャウを訪れる観光客の多くは欧米人のようだ。ローカル感満載のアジアの田園が彼らと呼ぶのだろう。

北部で近年観光客を集めているのがニンビン省。その大きな理由は2014



年、「チャンアン景観遺跡群」がベトナム初の世界複合遺産になったことだ。場所にもよるがハノイ市内から車で2~3時間と立地も良い。

ニンビンにはボートクルーズが楽しめるチャンアン景勝地、10世紀の古都として知られるホアルー、奇岩が強烈なタムコック渓谷など観光名所が多いが、おすすめは東南アジア最大級の仏教寺と言われる「バイディン寺」。

とにかく広い、何でも大きい！ その総敷地面積は約700ha、門から本堂まで約3kmもあるので電気自動車
で移動、巨大な釣鐘は約36tの重さ
で、500体の阿羅漢像が並ぶ。本堂に
入れば黄金尽くして、中でも黄金の千
手観音像は必見だ。

「見学に時間はかかりますが、寺の敷
地内にある宿泊施設に泊まれるの
というのがおすすめの理由です。むしろ
バイディン寺をメインに、チャンアンを
セットにして楽しむのも面白いですよ」



マイチャウ



チャンアン



バイディン寺

マニア向けと一般向け？

行くのに時間はかかるが、絶景マニア
ならぜひ世界第4の滝と言われる「バン
ゾックの滝」へどうぞ。いくつもの滝が
並んで水を落とす姿は力強く圧巻で、
落差約30m、最大幅約200mというベ
トナム一の規模を誇っている。

ベストシーズンは雨季の7月～9月
なのでまさにこれからであり、滝壺の
近くまで行く遊覧ボートも数多く出て
いる。ただ、場所がカオバン省の中国
国境にあり、ハノイ市内から車で7～8
時間と半日がかかりとなる。寝台バスと
一般のバスを乗り継いでいく方法も
あるが、車をチャーターして早朝発、
夕方前着とするのが現実的だ。

「川の手前がベトナムで向こう側が中
国になります。中国側の観光客は多い
もののベトナム側は少なく、中国側か
らの遊覧ボートはベトナムに着けられ
ませんから、ゆっくりと楽しめます」

日本からの観光客はまず行かない
絶景地であり、現地には宿泊施設も
あるという。

ベトナムの観光地としてあまりに有
名な、クアンニン省の「ハロン湾」に行
った人は多いだろう。しかし、数時間
のクルーズではなく、宿泊できる高級
観光船に乗った人はあまりいないの
ではないか。

こうしたツアーは外国人観光客が
主な対象だったが、新型コロナの影

響で彼らが激減した今、最大50%
OFFなどの割引をしている。もちろん
我々も購入できるので、減多にない機
会を利用したい。ただ、ツアーにより
割引率は異なり、既に予約で埋まって
いる場合もあるので、Webサイト等で
事前のチェックは欠かせない。

「宿泊ツアーなら湾の奥まで行ったり、
島に上陸するなどの体験もできますし、
何より夕日と朝日を眺めるだけでも行
く価値はあると思います」



バンゾックの滝

南部は充実のホテルライフ

次は南部、ホーチミン市からの小旅
行について。近場のビーチリゾートとし
てはビントゥアン省に「ムイネー」と「フ
ァンティエット」があるが、しばらく雨季
が続くのであまり楽しめなさそうだ。な
らば、ちょっと考え方を改めてゴージャ
スなホテルライフはいかがだろう。

メコンデルタ最大の都市である「カ
ントー」は、ホーチミン市から車で約4
時間ほどの距離。近年は経済都市と



ハロン湾

しての発展が目覚ましいが、水上マーケットなどの観光地や穀倉地帯であることを活かした農村ツアーなどの見どころも多い。

そんなカントーで注目されているのが、メコン川支流のハウ川中州に建つホテル「アゼライ・カントー」だ。ラグジュアリーリゾートとして有名なアマングループの創始者であるエイドリアン・ゼッカ氏による新ブランドで、1島まるごとがプライベートリゾート。各国のVIPも訪れるという。

「中州にあるのでボートでしかホテルに行けません。なぜカントーにできたのかは知りませんが(笑)、ホテルライフが好きな方ならアマンのサービスとクオリティをベトナムで存分に楽しめます」



アゼライ・カントー

カントー市内や観光地にはあえて寄らず、直行直帰(?)でホーチミン市とホテルを往復。そんな小旅行があってもいい。

移動に手間と時間は掛かってしまうが、復活した国内線に乗って45分ほど。週末旅行でバリア・ブントウ省のコンダオ島も面白い。ビーチリゾートでありダイビングやシュノーケリングも楽しいが、5~10月ならウミガメの産卵と孵化の見学ツアーに参加できる。

場所はラグジュアリーホテルの「シックスセンスコンダオ」。ホテルからほど近い島にウミガメの卵を保護する施設を持ち、卵から孵化した赤ちゃん亀を海へ戻しているのだ。自然保護区指定国立公園であるコンダオ島ならではのアトラクションで、ベトナムというより世界でも貴重な経験となるはずだ。



シックスセンスコンダオ

「卵が孵化する確率は約95%と聞いていますので、2泊すれば1回はチャンスがありそうです。子連れのファミリー旅行でも楽しめる場所だと思います」

足を延ばして中部リゾート

こちらでも飛行機での移動となってしまうが、浅田氏が季節的に9月まで勤めるのが中部のビーチリゾート。カインホア省のニャチャン、ダナン、ビンディン省のクイニョンで、最低2泊、できれば有給休暇を取って3泊で行きたい。

特にニャチャンは今、カムラン国際空港周辺が開発されて、新しいホテルが次々と建設されている。モーベンピックリゾートカムラン、ラディソンブルーリゾートカムランなどで、ホテルのクオリティと共に注目されるのが立地だ。ニャチャンの中心部およびメインビーチには空港から車で50分ほどかかるが、こちらの地域は10分程度と激近だ。「海の透明度も市内周辺より高く、中心部に用事がない、むしろ行きたくない」と考える人であれば、新しいタイプのバカンスが楽しめるでしょう」

ベトナムでは今、上記ハロン湾クルーズのようなツアー料金の値下げや観光名所の入場料引下げなど、観光需要の刺激策が次々と打ち出されている。ベトナム人が対象だが、我々の「相乗り」が少しでもこの国の観光業に役立てば、一挙両得だ。



モーベンピックリゾートカムラン



ラディソンブルーリゾートカムラン